

芸術・スポーツの秋～冬 イベント盛り沢山の季節到来! 2008年10月
GTニュースのバックナンバーはホームページでご覧になれます。 第24号

ラグビーフットボール部の創部は昭和三十四年。かつては「花園」で「目黒」久我山時代を築いた伝統を今に受け継ぎ、部員は日夜練習に励んでいる。現在、目黒学院体育科の教諭でラグビーフットボール部の幡鎌孝彦監督

目的を持って行動する

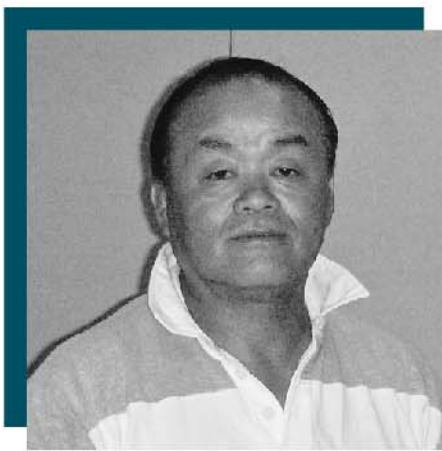
昭和十五年、東京機械工学校として創立した目黒学院高等学校は、スポーツが盛んなことでも有名な学校。空手道部、硬式野球部、水泳部などの活躍はめざましいが、特にラグビーフットボール部は全国大会出場十六回で、その内五回は全国優勝、準優勝五回、ベスト四が二回、ベスト八も二回という見事な成績を収めている。

目黒学院高等学校 ラグビーフットボール部 幡鎌孝彦監督インタビュー

お話を伺った。

監督歴二十年・・・ スポーツを通しての 人格育成に熱き想い

目標を持って、ひたむきに努力する事は体力・技術のみならず精神力を鍛える。今回は目黒学院ラグビーフットボール部監督の幡鎌孝彦氏に



督も同校のラグビーフットボール部の出身。高校一年と二年の時に「花園」で行われた全国大会で準優勝、三年の時には全国大会初優勝を果たしている。当時を振り返り「その頃、ラグビーはまだ今のようにメジャーな競技ではなく、指導方法もあまり確立されていませんでした。技

術や練習量だけでなく、特に精神力を鍛える徹底的なスパルタ教育で、試合の時の方が楽しかったこともあるほど厳しい練習でした」と言う。その若い日の体験が根底にあるのだろうか、幡鎌監督の指導も熱い。「ラグビーはルールのあるケンカに近いハードなものです。昔のようなスパルタだけでは通じない時代になりましたが、精神的な強さは大切だと思っています。高校時代は義務教育と社会人になる中間の時期、与えられるテーマを言われる通りにこなす事から、さらに進んで周りの状況を判断し自分のやるべき事をしっかりと

りサポートできる力をつけて欲しいと思っています」と語る。また、「スポーツマンも考えて行動する企画マンであり、他を思いやる人格者でなければいけないと思っています。安易な行動が他の人に迷惑をかける事もあります。先を見て行動しろ。何回も言葉で言うより、感じ取らせることが

術や練習量だけでなく、特に精神力を鍛える徹底的なスパルタ教育で、試合の時の方が楽しかったこともあるほど厳しい練習でした」と言う。その若い日の体験が根底にあるのだろうか、幡鎌監督の指導も熱い。「ラグビーはルールのあるケンカに近いハードなものです。昔のようなスパルタだけでは通じない時代になりましたが、精神的な強さは大切だと思っています。高校時代は義務教育と社会人になる中間の時期、与えられるテーマを言われる通りにこなす事から、さらに進んで周りの状況を判断し自分のやるべき事をしっかりと



父親としての包容力

現在、部員は四十一名（一年生二十二名・二年生六名・三年生十三名）。任意で部員の約半数が寮で生活していると言う。「子ども達と接するにはその場で良し悪しが変わるような子育てはだめですね。そう思うからこそ、生徒たちには自分の子ども達という思いで接しています。子ども達は多くの可能性を

お知らせ

十月から新年にかけて
予定されている催物

めぐろ 地域福祉のつどい

区内の関係団体による、模擬店やバザー、展示販売など楽しく有意義なイベントです。
・日程 十月二十五日（土）
・場所 GT広場・ホール



▲めぐろ地域福祉のつどい(昨年)

今年も見えます！ 中目黒あかりまつり 2008年

1、「私のクリスマスツリー」を募集！
募集期間
十一月一日（土）～三十日（日）



▲クリスマスツリー展(昨年)

詳細
「私のクリスマスツリー展」事務局
(株)アートフロントギャラリー内
電話 三四七六―四八六八

2、古代の行列



▲古代の行列(昨年)

3、ライトアップ・イルミネーション

昨年までの青色を全て電球色に替えます。
シンボルツリーの「くすのき」には、「舞い落ちる雪」の演出。その名もSnowfall。

しんしんと降る雪が、中目黒を冬景色に変えます。



▲「舞い落ちる雪」を演出(イメージ)

4、あかりまつりコンサート
クリスマスの雰囲気ピタリ。



▲大階段でのコンサート(昨年)

GTクラシック コンサート

GTにはお馴染みのアマービレ弦楽トリオによる楽しいコンサートです。トリオの一人中島真理さんの長女・満音さんがピアノで初出演。

会場の関係でGTの関係者のみを対象としています。

・日時 十二月二十一日(金) 午後六時半開場、七時開演
・演奏曲目 ホフマイスター「ヴァイオリンとチェロのためのデュオ」、サラサーテ「ツィゴイネルワイゼン」など



▲アマービレ弦楽トリオによる楽しいコンサート(昨年)

GTギャラリーカレンダー

- ★沖谷八郎展
九月三十日～十月九日
- ★内田千代子
Color & Color展
十月十日～三十一日
- ★税理士仲間の写真展
十一月四日～二十五日
- ★東山フォトクラブ展
十二月一日
～十二月十二日
- ★目黒区役所写真部展
十二月十二日～二十五日

GT賀詞交歓会

GT賀詞交歓会を左記の日程で開催します。
開会に先立ち、ニューイヤークラシックコンサートを予定しています。

・日時 一月十五日(木)
午後四時～六時半
・場所 GTプラザホール



▲ニューイヤークラシックコンサート(本年1月)

編集後記

スポーツの秋。今回の「人インタビュー」では、ラグビーゆかりの人を取り上げました。平成三年以来「花園」が遠いままの目黒学院ラグビー部。
東京に目黒あり！と全国にその名を馳せる「その時」は、きっと来る。いや、中目黒のまちが一つになる。そんな時が来ることを祈りたい。第六天社様お願いします。(合掌)



▲東山フォトクラブ

目黒区役所
写真部展



持っています。文武両道も可能です。社会での格差が広がり、目的を持ってない若者やニートが増えていると言われているますが、若者がやりたい事の夢を持ち何回失敗してもやり返せるような社会であってほしいと思います」と語る。ラグビーは個人の良さが生かされたチームプレーが理想だとか。子どもの教育とラグビーの理想が重なっているように見える。

「中目黒駅は学生時代から利用しているのもう四十年余になります。中目黒エリアも昔とはすっかり変わりましたが、地域の皆様には生徒たちが昔から本当にお世話に

なっています」と語る。厳しい中にもいつも生徒を思う頼もしい「父親」のような監督の姿があった。

幅鎌孝彦さんプロフィール

昭和44年
目黒学院から法政大学へ
昭和63年
目黒学院ラグビーフットボール部監督に就任し現在に至る。
目黒学院高等学校体育科教諭

〈目黒学院ラグビーフットボール部〉

創部昭和34年	
全国大会優勝	5回
全国大会準優勝	5回
全国大会ベスト4	2回
全国大会ベスト8	2回
全国大会出場	16回

斑鳩を装う

文：岩田 都女

いかるが

GTひろば

GTニュースに新コーナー誕生！ 不定期ですが、読者の皆さんの交流ひろば。

稲穂垂るる斑鳩に魅せられ二日通った。和辻哲郎の「古寺巡礼」を片手に法隆寺へ向かう途中で、まず心がときめくのは、斑鳩の民家の間から眺める法隆寺の五重塔、法輪寺、法起寺の三重塔である。

百済観音は、八頭身美人は小柄できびきびとしていらつしやる仏像である。そして門跡尼院中宮寺の如意輪観音の神秘的微笑みに、魂が吸い寄せられる。しかし、その由来、意味するものは私には難しい。

心ひかれたものは、列柱の木のぬくみと円やかなあたたかみ。松の殻のような樹皮の色と、大きさ。

回廊を進み心とむのは、屋根裏の角材が

つしりと合掌型に組み合わせた木の重厚さ。色。それでいてさわやかな風が吹く回廊。寺を囲む築地塀の黄土色でもない唐もろこし色でもない千古の色。

質問に答える作務僧は、色の名は知らぬがあの壁は、漆喰を搗いてついで盛り上げたものだという。重要文化財の築地塀の、横に走る太い縞模様は、紬の横糸の節をおもわせる。あんな風合いの紬の和服が欲しい。中宮寺観音の艶やかなお肌の濃い茶色を帯に頂きたい。中宮寺の白砂は帯留めに、帯揚げは築地に沿って咲く曼珠沙華の茎の薄みどり。草履は木目の色、鼻緒は稲穂の色。曼珠沙華の朱は心に点そう。

秋はワインカラーにかざるとブドウ色、ワイン色に長いこと憧れていた。

斑鳩の築地塀に出会い秋の憧れの色は変わった。

八月、九月のイベントレポート

イベント①

第43回中目黒夏まつり

第四十三回目の伝統！「中目黒夏まつり」が、去る八月二日、三日の両日賑やかにそして熱く盛り上がりました。中目黒の一夏が終わりました。ご協力ありがとうございました。



イベント②

中目黒八幡まつり

九月二十七日、二十八日の両日、GT一帯のまちの氏神様「中目黒八幡神社」のお祭りが催され、御神輿も加わって町中が賑やかになりました。

イベント③

第六天社九月例祭

九月十四日、今年最後の例祭が、中目黒八幡神社岡部宮司をお迎えして第六天社崇敬会の皆さんの参加のもとに執り行われました。特に今回は、



▲第六天社の九月例祭



▲中目黒八幡まつり

GTでは二十七日、子ども神輿、二十八日には大人神輿にそれぞれ休憩所を設けてGTの皆さんで心のこもった接待をいたしました。商売繁昌、健康長寿！

充実した 展覧会が続いた GTギャラリー

①境 玲子個展Ⅱ 母の短歌に絵を添えて



▲境 玲子個展Ⅱ

②ひだまり日記 (田上直子写真展)

一枚一枚想いを込めた手作業の写真。「子ども」「家族」専門の写真家。モノクロフィルムで作品もより引き立っていました。



▲ひだまり日記 田上直子写真展

③松岡葉子のみちのり展 (チャリティー展覧会)

葉子さんの手元に残った最後の作品を、画家としての葉子さんの「みちのり」として捉え企画されました。



▲松岡葉子のみちのり展

④小林美津枝 押花展

常連さんになりました。今回も身近な花々を素晴らしく生き生きと紹介していただきました。素材が生ききているようでした。



▲小林美津枝 押花展

⑤仏像彫刻・木彫刻写真展

今回で二回目の展覧会。木彫の世界。いかがでしたでしょうか。



▲ピシット決めたGT隊

目黒消防署・防火管理研究会共催による自衛消防活動審査会が去る9月26日(金)ダイエー碑文谷店駐車場で開催されました。めでたく、優秀賞を獲得しました。目黒区で、トップ級のGT自衛消防隊！

自衛消防活動審査会 GT隊 優秀賞に輝く！



▲仏像彫刻・木彫刻写真展

ペンリレー⑨

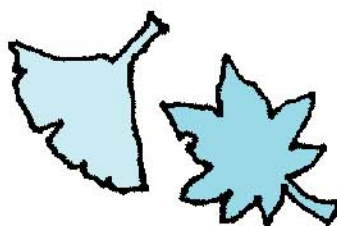
人が安心して 働ける環境を創る

GTタワーのテナント紹介コーナーの9回目は、17階の(株)アドバンテッジリスクマネジメントにご寄稿いただきました。

皆さんは「働けないリスク」について考えたことがありませんか？会社員の皆さんが、もしも大怪我や重篤な病気で長期療養が必要になり、会社に行けなくなったとしたら、多くの場合、ある一定期間を過ぎると収入は途絶えてしまいます。

その時、社会保障や従来の保険は大きな助けにはなりません。「生きているけど働けない」状態に対し、あまりにも備えが少ないうのが今の日本の現実です。

アドバンテッジリスクマネジメントグループは、この「働けないリスク」を補償する保険商品「GLTD(団体長期障害所得補償保険)」のマーケティング事業を中



で、これらの社会的な問題の解決に取り組んでいくと考えています。

心一九九五年に創業しました。それ以来一貫して、企業と働く人々を取り巻く様々なリスクや課題を解消するための解決策を提供してきました。GLTD以外にも、従業員のココロの健康管理を目的としたメンタルヘルスクア事業、障害者雇用支援サービスなど、「人が安心して働ける環境を創る」ことを目的にした多様なサービスを提供しています。

長い不況を経て、多くの企業において成果主義の導入やリストラが進み、職場環境もストレスの多いものになっていますが、その中で「人こそ会社の財産」という考え方が再確認されてきています。当社は、従業員の皆さんが安心して働ける環境を創るための企業のお手伝いをさせていた